

(3) 札幌市の食産業と観光

札幌市は、食品製造業など食関連産業が数多く集積しており、製造品出荷額等¹における食料品は約2,100億円、市内製造業全体でもっとも多く、43%を占めています。（「平成24年工業統計調査」（経済産業省））

また、高い食糧自給率²を誇る北海道の物流の集積地であるほか、北海道の総人口の約3分の1の人口を有する道内最大の消費地でもあり、観光地として広く認知され、年間約1,300万人（平成25年度）の観光客が訪れます。民間調査機関による「地域ブランド調査³」では、札幌市は平成22年から3年連続で魅力的な都市ナンバーワンに選ばれており、格安航空会社の参入、東南アジアなど国際線の新千歳空港への就航による後押しだけでなく、今後とも、北海道新幹線の札幌への延伸など、観光都市札幌を訪問しやすい環境が整いつつあります。

なお、札幌市が実施した「来札観光客満足度調査」（平成24年度）において、滞在目的や楽しみは「おいしいものを食べる」が最も高く、市民はもちろん観光客にとっても、道内各地の豊富な食材を使用した食品を味わえる札幌の食は魅力的です。

このような地域特性を背景に、「さっぽろスイーツ⁴」や、「オータムフェスト⁵」といった食をテーマにしたイベント等の取組は、札幌の食のブランド化や食の魅力の情報発信の場として徐々に定着してきました。

札幌市は、さらに食の魅力を生かした産業の高度化や付加価値の向上を図ることを戦略ビジョンに掲げており、食関連産業の基盤強化などを主な取組としています。こ



(資料) 札幌市観光文化局観光コンベンション部
「来札観光客満足度調査」（平成25年2月調査）

¹製造品出荷額等 工業統計調査において、製造品出荷額等は1年間の製造品出荷額、加工品収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計を指す。

²食糧自給率 特定地域の食糧消費が、同一地域の農業生産でどの程度賄えているかを示す指標。

³地域ブランド調査 株式会社ブランド総合研究所が平成18年より行っている消費者調査。

⁴さっぽろスイーツ 平成17年に設立した「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心とした、スイーツで札幌の街を活性化することを目指す取組。年に一度開催するコンペティションには札幌市内近郊で腕を磨く多数のパティシエが参加し、そのグランプリ作品は毎年注目を集めています。

⁵オータムフェスト 「北海道・札幌の食」をメインテーマとして毎年9月下旬～10月上旬に大通公園を中心に開催される集客イベント。平成20年度から札幌市を含む実行委員会により運営されています。北海道内各地の特産物を提供し来場者に味わってもらうことで、地域特産物及び料理のPRと北海道全体の活性化を図ることを開催目的のひとつとしています。

これらの前提にあるのが、食の安全・安心であるとともに、札幌の食のブランド力を高めるため、食の安全・安心の確保に向けた一層の取組が必要です。